2023年1月改定

9-902号(06) 担当:吉田



食中毒により 休業を余儀なくされ、 売り上げがないにも関わら で、家賃や人件費が重く のしかかるリスクがありま

しまうリスクがあります。お店の設備や什器を破損させお客さまや従業員が誤って

お酒に酔ったと

静ったお客さまが 関仕切りにぶつかって 壊してしまいました!

想定される損害例※

店舗で食中毒が発生したため、 7日間休業することになった。

_{損害額} 35万円

想定される損害例※

お酒に酔ったお客さまが倒れかかり、 店舗内の間仕切りを破損させた。

損害額 43万円

従業員が 病気になって 人院することになった。

従業員が高額な治療費を負担するのが難しい場合は、適切な治療を受けられないリスクがあります。

想定される事例※

従業員が肝機能障害と診断され、長期の 入院が必要となった。 支出 105万円